

公明党 福祉用具議員懇話会 第49回国際福祉機器展 H. C. R. 2022 視察

第49回国際福祉機器展 H. C. R. 2022 が10月5日(水)～7日(金)の会期で、東京ビッグサイトにおいて開催された。主催者発表で、3日間合計 88,521 人の来場者があったことは、コロナ前の10万人を超える全盛期には及ばないものの、WITH・コロナが一步、一步進んでいることを裏付けた。当会は会期中のブース出展に加え、5日の初日には出展社プレゼンテーションとしてふくせん特別セミナーを開催するなど会員の皆様との交流に取り組んだ。

また、公明党が2020年11月11日に党内に福祉用具を巡る課題に取り組むことを目的に設立した「福祉用具議員懇話会(北側一雄会長・衆議院議員)」から視察団をお迎えし、貸与と販売種目に係る議論に関する要望や、物価高騰にともなう製造、開発に係る問題など、福祉用具を取り巻く様々な課題について、出展メーカー会員各社への視察を通して知っていただく機会となった。

H. C. R. 2022 開催会期中に下記の「福祉用具議員懇話会」視察団に来場された。

- ・10月5日(水)
伊藤孝江氏(参議院議員)
高橋光男氏(参議院議員)
- ・10月6日(木)
塩田博昭氏(参議院議員)
- ・10月7日(金)
福重隆浩氏(衆議院議員)
古屋範子氏(衆議院議員)

メーカー各社からの出展商品の説明や福祉用具を取り巻く様々な声に耳を傾けられた。



新しく開発されたベッドについて説明を受ける(上)
伊藤議員(左から2人目)と高橋議員(右端)、岩元理事長(左端)



移乗シートを実体験中の伊藤議員(左)と高橋議員(右)



高齢者が災害時に対応できる福祉用具を中心に、限られた時間内で精力的に説明を受ける塩田博昭議員(中央)



装着型介護ロボット「パワーアシストスーツ」を体験する古屋範子議員(上・中央)



出展メーカー会員からの要望を聞く、福重隆浩議員(左)と、古屋範子議員(中央)